

（東日）
國花萬葉記

卷之第九

○東海道之内
以列國之申理自郡名以下至
國產名物之類各凡有唯

九	伊勢	七	尾張
九	伊賀	七	志摩

至伊勢國內外兩宮加畧記

ル 3
3671
17



門 3
 號 3671
 卷 17



本日

園花萬葉記 卷之九

東海道 括弧内ノ内

尾張國 尾州

下後八郡
 南加三日

此ありて去肥より種多し倍々

聖多く日本國中、後進大上國

海府 中務 丹羽 春日

山田 色智 智多 内賢信

田敷七あ又百武丁

知り言 四拾八万八百四十二

尾張國之云 日本武皇の末裔と云
 尾張は聖りありて繁華せる所の叙を
 賢田小納む賢田の神をなりこの
 叙りて大蛇の尾より流るる叙へ
 け叙この國より有りゆゑ尾張と
 云ふ

名古屋御城主 八十六り廿二丁



尾張宰相齋温卿

六十一万石又八百石

成瀬隼人正 牛尾山後守 成瀬忠房 成瀬丹後守 成瀬俊成 成瀬俊成 成瀬俊成 成瀬俊成 成瀬俊成 成瀬俊成

御や一丸
 上布谷庄の御
 中かじり西上丁也
 中比谷御の御
 下大くほ外山
 下本掛丁つと地
 下川田がくほ
 下比谷内蔵者
 下いりり御
 系 尾小治延可野所系入丁
 大坂かきととと



金御紋
 御後系
 御中人
 御日明
 上下



尾州家御家系

御婿
 御内室
 御附
 金御紋
 御後系

源義直

徳川右左衛門督
 源二位
 大御公
 是乃源義直と叔代あり
 是乃源義直と叔代あり

齊温

恒三位 宰相
 実持軍家齊之弟十八男

内園先御願主

内園先御願主
 内園先御願主
 尾張大納言直御

大山御城主 九十八り

尾州五
御家長

成瀬隼人正 二万五千石

▲尾州國中神社之記

真清田神社

申信取 西國一宮之

▲急神

大己貴命 一宮也

熱田大御神

社外七百十石 菅智取

▲急神一座今亡と云 天村雲取あり

又云尚社の日本武尊乃孫岳取之

神名帳に云人皇十二代系孫天皇才

比乃皇孫小碓尊と云日本武尊と

名くは昔乃岳取と 大宮の日本武尊

東宮の素戔嗚尊 南宮の素戔嗚尊

西宮の伊弉册尊 北宮の金稻意命

中央の天照大神 尾張乃風云泥云

熱田社の昔日本武尊東國と平治

歴して是れす 乃村尾張比連等

が是れ宮家美姫命と娶うて是れは

是れは急神と云ふなり 乃村

乃村と云ふは急神と云ふは急神

乃村と云ふは急神と云ふは急神

乃村と云ふは急神と云ふは急神

乃村と云ふは急神と云ふは急神

乃村と云ふは急神と云ふは急神

乃村と云ふは急神と云ふは急神

乃村と云ふは急神と云ふは急神

乃村と云ふは急神と云ふは急神

乃村と云ふは急神と云ふは急神

乃村と云ふは急神と云ふは急神

乃村と云ふは急神と云ふは急神

乃村と云ふは急神と云ふは急神

乃村と云ふは急神と云ふは急神

乃村と云ふは急神と云ふは急神

乃村と云ふは急神と云ふは急神

乃村と云ふは急神と云ふは急神

乃村と云ふは急神と云ふは急神

乃村と云ふは急神と云ふは急神

乃村と云ふは急神と云ふは急神

乃村と云ふは急神と云ふは急神

乃村と云ふは急神と云ふは急神

三種の神靈と云ふをてのふ西澤
 神靈八咫乃の鏡八咫乃の世
 神の高仁天皇乃の皇女倭姫宮天皇
 古神乃の天孫乃の神皇と云ふ
 三種の神靈を奉りて乃の川上たわ
 ぐりありあふ今乃の川上たわぐり
 有十二代素戔嗚尊天皇廿八年乃の
 素戔嗚尊乃の御孫乃の武甕槌尊

素戔嗚尊乃の御孫乃の武甕槌尊
 乃の御孫乃の武甕槌尊乃の御孫
 乃の御孫乃の武甕槌尊乃の御孫
 乃の御孫乃の武甕槌尊乃の御孫
 乃の御孫乃の武甕槌尊乃の御孫
 乃の御孫乃の武甕槌尊乃の御孫
 乃の御孫乃の武甕槌尊乃の御孫
 乃の御孫乃の武甕槌尊乃の御孫
 乃の御孫乃の武甕槌尊乃の御孫

三種の神靈と云ふをてのふ西澤
 神靈八咫乃の鏡八咫乃の世
 神の高仁天皇乃の皇女倭姫宮天皇
 古神乃の天孫乃の神皇と云ふ
 三種の神靈を奉りて乃の川上たわ
 ぐりありあふ今乃の川上たわぐり
 有十二代素戔嗚尊天皇廿八年乃の
 素戔嗚尊乃の御孫乃の武甕槌尊

高麗神霊乃の神皇乃の御孫乃の武甕槌尊
 乃の御孫乃の武甕槌尊乃の御孫
 乃の御孫乃の武甕槌尊乃の御孫

高麗神霊乃の神皇乃の御孫乃の武甕槌尊
 乃の御孫乃の武甕槌尊乃の御孫
 乃の御孫乃の武甕槌尊乃の御孫

高麗神霊乃の神皇乃の御孫乃の武甕槌尊
 乃の御孫乃の武甕槌尊乃の御孫
 乃の御孫乃の武甕槌尊乃の御孫

高麗神霊乃の神皇乃の御孫乃の武甕槌尊
 乃の御孫乃の武甕槌尊乃の御孫
 乃の御孫乃の武甕槌尊乃の御孫

高麗神霊乃の神皇乃の御孫乃の武甕槌尊
 乃の御孫乃の武甕槌尊乃の御孫
 乃の御孫乃の武甕槌尊乃の御孫

津島神社

威力とわたりて又故とくし強
威とありてけ國とあはれゆ
あふりてさくちりく柄後より當社
伏見院正徳四年二月二日回禰す
月内よりあま社達立之は後般代也
是よりすし貞享二年丙寅新小
由達立之を新石丸教る西のり
元と初られ之楊を地乃出
兼山乃津靈志は新乃瑞流と云

津島

社名

海部郡
社領二百石

祭神

山城一社園小川

中殿

素盞馬尊 東殿 稻田姫

西殿

八王子

社名に云はれ云々王世代然内天白皇の
定年已未小比小來院くあま又毎
歳山草乃新すりてるこれ國中
夜妻異言はト儀ハカカカカカカ
梅より天乃下乃夜氣候災と云々
多よりハハ推考乃月と云々
願乃津勇小志くすりて國中

寺跡法座乃地く新法威徳と

志り経ると云々カカカカカカ

故小紙書乃氏子るこれハ族民初来

乃子孫と稱く大小多し因ハ小前の中

りくけのいす後もなるいすり夜候

乃火乃中ハと云々カカカカカカ

出麻の神

冊形

削栗の神

冊形

八幡宮

各後庭

天神

各後庭

五王大明神

五王村

老宿山神

中ノ御

貞徳宮

社山寺三 社於千石

尾列國中佛欄大築

方松寺

傳昔

天文年中 築回依兼寺建

雲光院

御氣

各後庭

泰福寺

縁無

同所 文永年中 築花縁神

西念寺

御氣

丹形

天雲院

御氣

山田村 本寺以基惠雲縁神

光の寺

尼寺

天武天皇御宇 築栗丸建

南昌院

津七

中徳 天智天皇御宇 築徳法陣

阿弥寺

津七

山岸

正妙寺

法主

寛永年中

日隆上人開

乃仙院法主

辰後本

妙音院法主

海於取

西光寺 一向

本寺安河

乃源上人開

安光寺 一向

大山

鳴海

直本寺親善

珍福寺

信三堂と稱すの女友也け親善小
立形ありてなるは其堂也なるべき名も

尾列國中名所回廊

何波乃乃要

下津と云里乃南小

わり足舟と云舟とけ處と十里程
乃舟内小あり川又のまはるる川丸

云け下りり下津と云つと計く名亦
亦通云ありて云々 かの系の子

あつて乃々 時多 懐 廉 紅系 木根

子多 乃々 乃々 乃々 乃々

乃々 乃々 乃々 乃々 乃々

乃々 乃々 乃々 乃々 乃々

乃々 乃々 乃々 乃々 乃々

乃々 乃々 乃々 乃々 乃々

乃々 乃々 乃々 乃々 乃々

乃々 乃々 乃々 乃々 乃々

乃々 乃々 乃々 乃々 乃々

乃々 乃々 乃々 乃々 乃々

乃々 乃々 乃々 乃々 乃々

乃々 乃々 乃々 乃々 乃々

乃々 乃々 乃々 乃々 乃々

乃々 乃々 乃々 乃々 乃々

乃々 乃々 乃々 乃々 乃々

乃々 乃々 乃々 乃々 乃々

乃々 乃々 乃々 乃々 乃々

乃々 乃々 乃々 乃々 乃々

乃々 乃々 乃々 乃々 乃々

乃々 乃々 乃々 乃々 乃々

乃々 乃々 乃々 乃々 乃々

乃々 乃々 乃々 乃々 乃々

乃々 乃々 乃々 乃々 乃々

乃々 乃々 乃々 乃々 乃々

乃々 乃々 乃々 乃々 乃々

乃々 乃々 乃々 乃々 乃々

尾張の里にひれはるるも、尾張の里にひれはるる社をい
ふなりこの里 尾張の里

尾張の浦 尾張の浦は尾張の里の西の邊にあり、
尾張の浦は尾張の里の西の邊にあり、

尾張の山 尾張の山は尾張の里の南の邊にあり、
尾張の山は尾張の里の南の邊にあり、

尾張の川 尾張の川は尾張の里の東の邊にあり、
尾張の川は尾張の里の東の邊にあり、

尾張の池 尾張の池は尾張の里の西の邊にあり、
尾張の池は尾張の里の西の邊にあり、

尾張の村 尾張の村は尾張の里の東の邊にあり、
尾張の村は尾張の里の東の邊にあり、

尾張の郷 尾張の郷は尾張の里の南の邊にあり、
尾張の郷は尾張の里の南の邊にあり、

尾張の宮 尾張の宮は尾張の里の北の邊にあり、
尾張の宮は尾張の里の北の邊にあり、

尾張の寺 尾張の寺は尾張の里の東の邊にあり、
尾張の寺は尾張の里の東の邊にあり、

尾張の社 尾張の社は尾張の里の南の邊にあり、
尾張の社は尾張の里の南の邊にあり、

尾張の田 尾張の田は尾張の里の東の邊にあり、
尾張の田は尾張の里の東の邊にあり、

尾張の畑 尾張の畑は尾張の里の南の邊にあり、
尾張の畑は尾張の里の南の邊にあり、

尾張の園 尾張の園は尾張の里の北の邊にあり、
尾張の園は尾張の里の北の邊にあり、

尾張の池 尾張の池は尾張の里の西の邊にあり、
尾張の池は尾張の里の西の邊にあり、

尾張の川 尾張の川は尾張の里の東の邊にあり、
尾張の川は尾張の里の東の邊にあり、

尾張の山 尾張の山は尾張の里の南の邊にあり、
尾張の山は尾張の里の南の邊にあり、

大日本東海道 拾六ノ國内

尾張の國分の上

尾張の國分の上

尾張の國分の上

尾張の國分の上

志摩國志

下段二段四方中目

海原多くもく圍之
 善志 英虞 甕傳 内甕傳二段ハ
 俣勢あり
 田敷田九百十七丁
 知りなきまき万七千八百四十丁
 ▲風去記云志摩ハ和名あり俣勢
 傳のきより地をさるまき海中に
 坐る俣之後不圍の名とゆ之

鳥羽御城主

本所九百四十四丁
 兵衛百十四丁

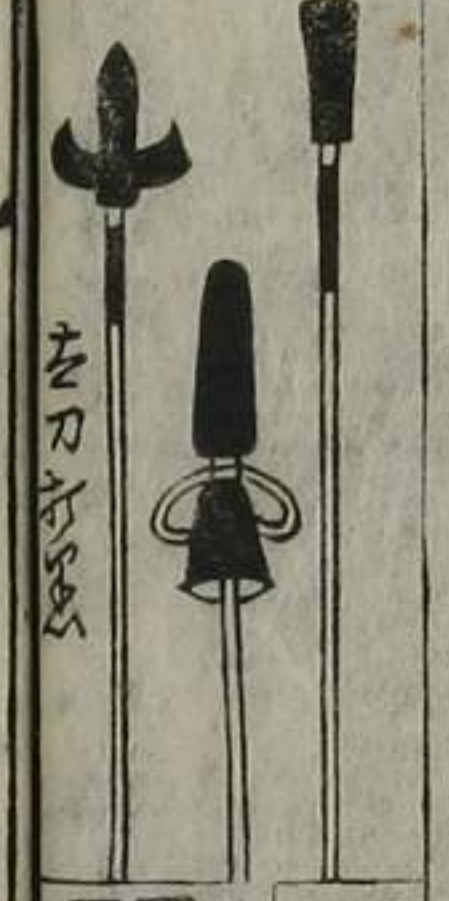
稻垣對馬守長割

十ガ九女
 二万八千

稻垣親貞
 稻垣孫親左衛門

田宮小出信濃守英發妹
 由也・上知り町八丁目・中四首ノ平
 一丸・下実口・下小之川白土

二ツも
 一ツも
 竹杖



押さちや
 かしらへんりん
 三ツ

斤技ノ梨

右ノ分ノ三ツカキハ乃浦ノ名所
 安大乃乃漢 西白土村ニ去る戸田ノ城下
 一ノ南ニあり海濱ニ置たり

あまの浦

名所ありは後ノ名ニありは前ノ名ニありは
 浦ノ名ニありは後ノ名ニありは前ノ名ニありは

あまの浦

浦ノ名ニありは後ノ名ニありは前ノ名ニありは
 浦ノ名ニありは後ノ名ニありは前ノ名ニありは

志列名物出所之類

糸 鯉ノ子
 同ノ子
 井ノ貝 鶏冠草 麻生乃浦茶
 和布 涌砂
 右志摩國分以上

字野下九 山城下

大日本東海道

十六ヶ國

修持圖 旁列

大後十六郡南小三日
余山海平均ありて余訓
小持より仍て國乃親とす古原く真
多し一と著く百派約六と上國也
田投長方九千廿四町

乘名 物時 於麻 冬志 唐盛

安法 飯多 飯野 飯吉 飯高

知行高五拾七万二千七百六石

一昔修持津夫乃非ありてこの國と成
しるも名にわく國乃号と記す所記
大目別命天照太神乃物とてけては西本
入のひとて女國と天孫小もれと九
時神ももるに別とやんとと今
小持をれく有りたりとて今も有り
ありとありて中夜小もれと風吹波
ありとありて日乃とて海とあり
とありとて遠に波不ありと東小もれ



御内室	婿門
押	智

稻垣氏御家系

源重賢

稻垣友成

長剛 對馬

長剛 對馬

享保十一年 稻垣氏之

志剛神社之部

伊村波大野村

善志郡 磯部庄上之師

神日 中長官 殿古長官

右の弁師社傳也之

▲祭神ハ伊勢内史の下に

イザナノミコト

所謂伊勢内史あり

流系神社

伊勢志ナ支也

社良日祠

戸部之五倍之陌の社と云

以て此社を勅傳せしと云強記不詳

或人の云猿田彦乃命と云事あり云

富士檀現

浦村之立

成唐寺

戸部之立 龜山院文永五年

某刻開基 和尙と云

▲志別と名取旧説

麻生村

戸部城下より辰巳地方

小ありて二丁程あり村と云あり

名取之麻生村乃藤村に檀現の宮

あり之双の系記あり

お酒の唐屋と傳ふありと云伊勢の社あり

故小社風伊勢常世波壽國と云ハ

蓋し之のありん 己上同云他のん

安濃津城主

百二丁

後四位信俊

タカユキ

藤堂和泉也高猷

藤堂内通

二万二千五百石

日 隼人

日 左門

ちやしん

上野新系・中下若くは下

下野園庭・下深井

系記あり川原折中し下丁

大阪 天海を一節と云丁

二本も

中おひ

押 馬乗

足折

二本ともうの先

押 智能

御

婦

附



御

附

内室

友堂氏古家系

友堂系源助虎高媽

藤原高虎

友堂系源助虎高媽

友堂系源助虎高媽

高猷 初泉書 後四位付履

押 智

友堂主之次子

△天正壬織田上野女信包月十七家田左進吉夫月
信濃守而妻長十三兩城並伊賀國友堂也
白鳥言高處以後依く成之

久根河城主

江戸分 百六リ余

藤堂信俊高稱

又万三子云

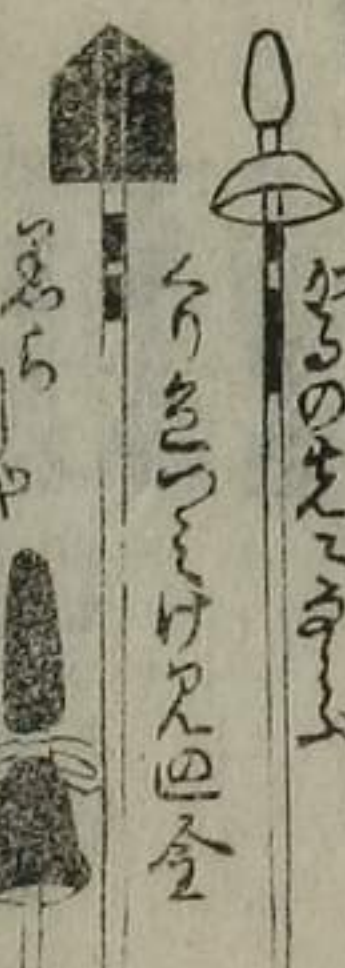
平井壺左の
遊せり云

近内宮内友信後守



下下管二丁目・下跡也ふトア
下林田さくま丁・下幸原みろ丁

中



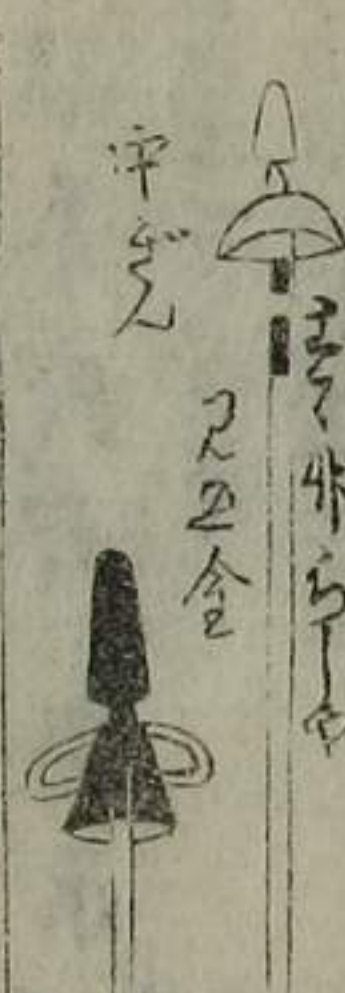
押 智
のん三
智地之人
のん白



友堂主水正高職

為村又云云

智



押 智
のん三
智地之人
のん白

素名河城主

江戸分 九十巴リヨ

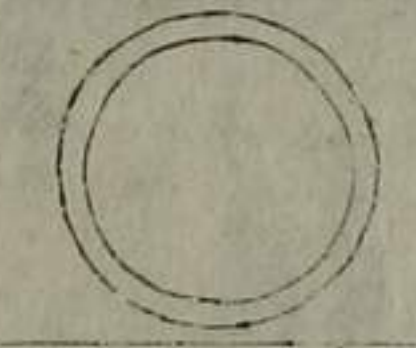
松平新中書定永

十一万云



松平新中書定永

吉村又云云



上水八丁橋・中市街
下つらら・下せうら下




黒くろげ
せんごんまき
くろまき
くごの先

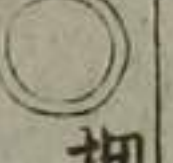
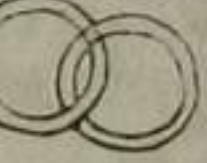
押地
のり
かき

白くろげ
まき
くごの先


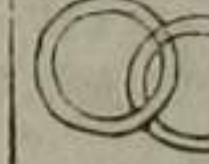
押右
のん
白

くごの先
まき
くごの先



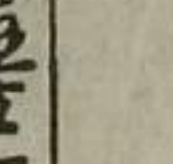
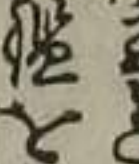

押右
のん
白

將軍家康公御舎弟
松平氏河家系

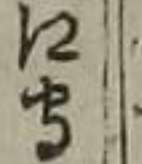
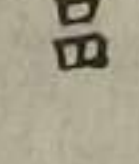
源定綱
松平家
長四郎

附
かき

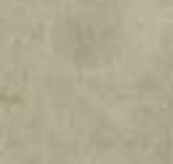

定永
松平家
長四郎

定和
四品

甘ホ
永三郎
甘ホ
永六郎

甘ホ
永三郎
甘ホ
永六郎

先傳主代々之次

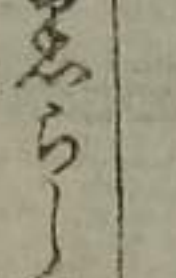

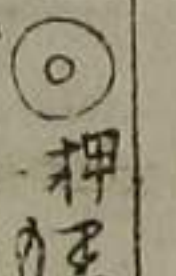
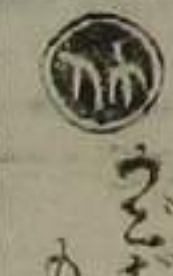
徳川左近將監一益後一柳右近將監
松平氏河家系
忠務同美濃守忠政元和之松平源俊
定務同隠岐守定行寛永十二松平誠中
守定源同揚州守定良同誠中守定重
宝永七松平下孫守忠種同下孫守忠
刻同下孫守忠終同下孫守忠功同下孫
守忠和同下孫守忠翼同下孫守忠寛
文政六ヨリ松平誠中守定永再修之

龜山所城主
百三十三

石川直政
六万石
加友赤良
名川守

直也・上下若大若小若・下みの
き・下ままを死二丁目

智の
お喜貝



所 附
内室
正照 後之外子世
正直 侍中

石川氏御家系

信和源氏八幡を以て養家 河内國石川郡姓
石川氏總て家系十二代
源忠輔 石川左衛門
是より源氏を以て養家
自より武徳を以て

總安 主原書

延吉子元ヨリ 石川氏姓之

長島御城主



増山河内守正寧
二万石

中崎鬼毛
吉足平八良



内室牧野老を以て成嫁
市や・上八代以て
き・トウ・トウ・トウ・トウ

押比こん
けんメ引
智同改
善本ニヨリ

二万石
らしや
かどの先

御 坊山備中守正直
内室松平下孫を以て養家始

おと久
右月改



さし味らしや
くこの先

おと久
右月改

増山氏御家系

藤原正利

少弼
是より源氏を以て養家
自より武徳を以て

正寧

河内守
後入位下

正照 後之外子世
正直 侍中

女子 六卿を以て

正知 別次良

女子 早世

正春 六三三良子世

元禄十又ヨリ増山氏以之

神戸御城主

百一丁半十二丁

幸多伊豫守忠升

大ハタカ
一万又ある

申条一右ら
林保又右ら
松系文老夫



直内宝松平を以て若娘
直や・上津田迄并・ト言ふハ
き・系故也

左刀打ノ申



押地
こんんき
附
ee
こんんき
のんき



御
姉
直内宝



他家系ハ江後所之御城主一系

押
魁

先藩主之次子

△神戸藩人友登・永禄十二歳回三七郎
信房飛柴下孫与勝程院川左左相監
一是居慶長又一柳監物連登同丹後
了通皇定永十石川攝大守松長同兼
吏了松長同遠江守松長享保十七ヨリ
幸多伊豫守右統以後以之

高野御城主

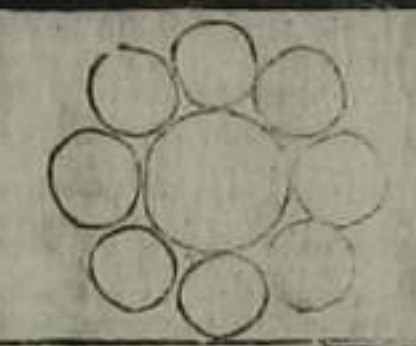
九十八リ

大初也

ヨシタ子
一万又ある余

山中右之丞

只月夜右



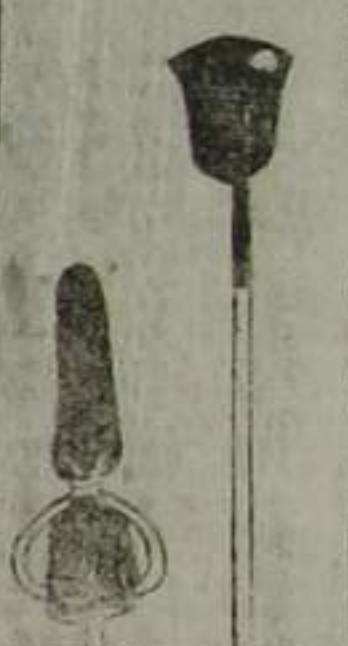
直内宝田沼侯後守之御妹
直や一き

上ハハあき下・下アキ一本松

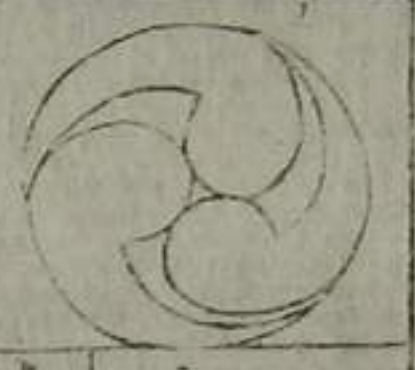
伊勢守

まつり

かどの江

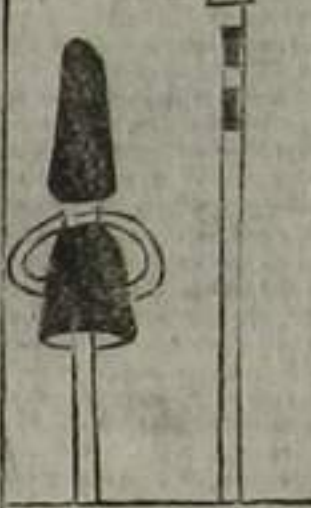
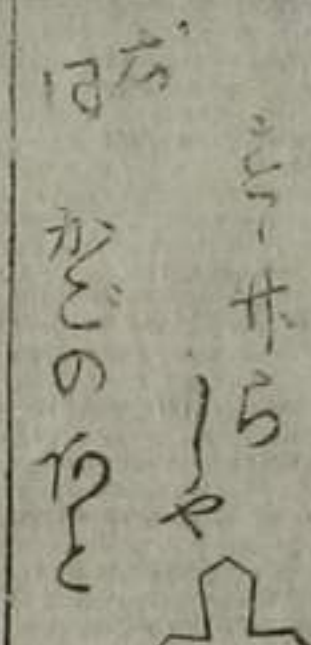


神元
かこん
かん赤



御
古方主殿雄奥

注内室九鬼河内古登及妹



あまの月乃
馬

土方氏内家系

源雄久

古方の内古

此方乃山内殿と叔代也
くまじくい武體とまゝ

義苗

大和古
室本下登及女男

雄奥主取

女子

白山寺の基利室
三人中根信七三三室
林系劫テ由室

慶長十ヨリ古方氏以之

○山田御奉行



父なき侍

金市林山内可充



馬

伊勢園中大小神社

内宮

伊勢兩太神宮

清神文領四方平石 内三万七千石
内宮 八千束社

外宮 四十束社

内宮祭主 中川古官
外宮祭主 中川古官

右二ノ宮勅授以外一ノ孫宮
正孫五人 佛師 春木志文
隼人 以外山内社人教受

内宮祭神 三座 相取神

天照皇右神

天字力能神
萬播姫神

天照皇左神

大日靈貴中

神代一統とありて伊勢の伊弉諾伊弉册乃
日登宇宿を御座りて子とて其九
と神子とありたり乃其子とて其子とて其子とて
心持のりて別他者神とて其子とて其子とて
大日靈貴とて其子とて其子とて其子とて

志摩國守禮宮



伊勢守禮宮
志摩國守禮宮
伊勢守禮宮
志摩國守禮宮

伊勢守禮宮

三ノ上石

内宮天照宮

外宮豐原宮

外宮豐原宮

天照宮

伊勢守禮宮
志摩國守禮宮
伊勢守禮宮
志摩國守禮宮

日十廿年 乙巳 倭將至末代天皇御 四年

以内天皇皇子命 御子命佳入事 四年

日十年 巳酉 御孫天皇御孫天皇御 四年

日廿年 癸巳 御孫天皇御孫天皇御 四年

日廿六年 丙辰 御孫天皇御孫天皇御 四年

今乃内文倭將度去耶多治河只于流川
上小文倭乃く更く強と示一ふ天皇
之伴倭將命小海く更く是伴風乃
解習國ハ常世乃彼乃新曆より方國之
後國乃可憐困かりは小治んと更く
故小之伴乃更小乃世更小和と倭將國
小立國く無宮成干只于流川の上は之
これと破宮と云 伊藤宮 則志伴天子
傳才す更く把上日本紀 倭將命大伴
乃更小とよりあゆみんこく 疾必とあか
久小倭將國小治とく 乃更小あひ
こく件乃よりとかり多は小和乃云字
流乃川上子老りを惟首天皇志伴乃
天より更を下あふ干乃全治天との國
傳天乃達文あり我がひより一れとち
る多二百年八方歳更あふると皇女小
修ひ多く彼系とよりあひ舟ありのそ

小治りも小治事乃よりこれよりと流多り
は故小治事流川と名づり又干流のそ
あより流れ川より右又干流川と名
づくは小治川上の文と建多今治文
これと彼系は後田天皇又ハ史云今
た云は命令乃從昔久を乃伴約と出
多く叔世の意地張流よりりて
又久後田天皇乃高宇治去公乃祖天田
命小治のふとこれと更なるた云 大常國
内文と小治を村上天皇乃内宇祭王
公常の内小治 志伴の與屋多内言
と号し 志伴乃天ハ外庭より外文
と小治は内文 志伴乃小治事

又内言と名づる天大やせり
御孫集二ツ云倭改遷文のより懐物りり
伴國乃皇女の大正ノ終業皇世は之れ 後全
内文乃内山と伴修中とより
天皇乃内山の文に皇女を伴はれおあり
天皇乃内山と伴修中とより
天皇乃内山の文に皇女を伴はれおあり
天皇乃内山と伴修中とより
天皇乃内山の文に皇女を伴はれおあり

天皇力推命

相殿事

天皇志伴天皇乃よりせり八

天照志伴天皇乃よりせり八

多奇い云はたむけしと云ふらん心向て是の位まで西の
伊弉册宮 伊弉册美神 志广ふ答志乃伊弉册村

乃云云三帳 伊弉册如此 倭姫世記
天年羅雲命 天波与命 天日別命 玉柱屋姫命
是伊弉册宮也 建日別命

後宮 朝熊宮又櫻宮云々 俗三河作末云云
奈神六座 一覽三案ニ世紀ニ云 櫛手命 座
志神 石座 櫻大刀神 櫻花木坐

皆虫神 石坐 大山祇神 石坐 朝熊水神 石坐
宝鏡二面 日月乃所記 日洞鏡 二れなり

社記云 伊弉册乃水神ハ倭姫命乃石座
伊弉册乃伊弉册乃乃宝鏡ニ座
一洗ニ世紀云 本心ハ倭姫命ニ云 伊弉册川
乃降ニ云 伊弉册乃伊弉册云 山乃云 山乃西
乃獨に洗乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云
伊弉册乃云 伊弉册乃云 伊弉册乃云

獨乃神云々吾云々後田乃大神と
 名宗を同和と鮎小言と後云天神
 乃の子まゝに鮎小言乃日向言子後乃
 穂觸乃舉小洲まゝへ一吾の幻伴其力の
 穂長田乃又十段乃川上乃河入一田之
 天細女を所指くせり申すは鮎と
 不於く天龍座を所あり天乃八重雲
 とらまはく終に先乃神はく白雲強
 別葉家日向言子後乃穂觸乃舉奉に
 河りまは後田乃神の別伴其力の後
 長田乃又十段乃川上乃河入一田之
 女ハ後田乃神云々所ありまは後田
 びくは後田乃神云々所ありまは後田
 先云は神乃河入一田之
 背乃七尺まゝに七尺と云一は神
 乃穂乃八咫乃後乃と云、神はり
 未さ申す神乃河入一田之
 後田乃乃神云々一真玉神山
 玉申す如早尾穂田中く原たまは神
 神大幸神古龍申くハ龍意又幸意
 出雲申くハ行訓記たより神はり
 大宇賀神大御子くハ神はり

善悪を以て二六時中く人の世を治す乃
 一念と神の命く形と現し生れと身
 子あり神乃神乃神の神の神

稲倉神

名戸神

神乃入座天若戸申り云は神と云は神
 別余ふちり申り云は神と云は神
 處たり 若屋か塚中云々神乃若屋ハ
 天月別命と大己貴命申り

外宮

- 度云後派本所山宮原五
- 神乃入座天若戸申り云は神と云は神
- 別余ふちり申り云は神と云は神
- 處たり 若屋か塚中云々神乃若屋ハ
- 天月別命と大己貴命申り
- 舟主 中川長官
- 非官 社家
- 清原 美木太史
- ▲外敷
- ▲祭神本座 相殿神 三座
- 東天降天の火燿之持尊
- 豐受皇之神 天照皇孫命
- 天照皇命

己上四神亦居之云云神代卷

山田原外氣水鏡度乃所云云

外氣乃神所乃氣云云云云

田原乃松乃村云云云云

云云云云

國常立尊之神

國常立尊乃神

于時天作乃中云云云云

國常立尊乃神云云云云

神乃身云云

今日也示云云

云云云云

云云云云

云云云云

云云云云

云云云云

云云云云

云云云云

云云云云

云云云云

云云云云

云云云云

云云云云

云云云云

云云云云

云云云云

天思皇命乃妹人
天澤養之次授之持名号天思皇
大祚乃三子授之持名号天思皇
中津國乃三子也

天兒足持命 又持名登皇命王
余の女許登皇命王孫令とありて
中津國乃天神中皇乃孫ト欲中
臣原原氏乃孫天孫原原氏乃孫ト
八重乃神乃中津國乃其乃天思皇
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃
中津國乃神乃神乃神乃神乃神乃

天右王命 乃神乃神乃神乃神乃神乃
天思皇乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃

多賀宮 乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃

川原宮 乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃

風宮 乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃

天村宮 乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃

乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃
乃神乃神乃神乃神乃神乃神乃

高井 高井社 社記并ニ社系考

小三多 小三多社 社記并ニ社系考

別命 別命社 社記并ニ社系考

貴命 貴命社 社記并ニ社系考

大國玉 大國玉社 社記并ニ社系考

祭神 二生 大己貴命 一坐 依之 依之

命 一坐 一坐 愚按 大國玉乃別大己

貴命乃別名之 大物主神 大國玉

社 又 顯國玉社 社記并ニ社系考

日本 日本心 素戔嗚命 乃 乃 乃

傳 傳 傳 傳 傳 傳 傳 傳 傳 傳

大間社 度去 度去 度去 度去 度去

祭神 二座 東大間社 西國史社

社記 祭神 祭神 祭神 祭神 祭神

乙若子 乙若子 乙若子 乙若子 乙若子

父 父 父 父 父 父 父 父 父 父

仲 仲 仲 仲 仲 仲 仲 仲 仲 仲

今 今 今 今 今 今 今 今 今 今

命 命 命 命 命 命 命 命 命 命

大 大 大 大 大 大 大 大 大 大

小 小 小 小 小 小 小 小 小 小

柳 柳 柳 柳 柳 柳 柳 柳 柳 柳

星 星 星 星 星 星 星 星 星 星

終 終 終 終 終 終 終 終 終 終

祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭

川 川 川 川 川 川 川 川 川 川

終 終 終 終 終 終 終 終 終 終

祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭

尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾

祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭

尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾

祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭

尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾

祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭

尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾

祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭

尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾

祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭

尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾

祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭

尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾

祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭

尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾

祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭 祭

尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾 尾

の 祭 社 之 尾 尾

以て五百聖女之須娘と皇女之祓乃
杖代等の儀傳皇女の御之流の機殿
おましくいひて世紀ふたりあり
▲金仁天皇廿六年辛二乃皇女傳命
初之御天以三氏ひく後代、皇女
之より出御門匠乃兼元二年四十二代乃
亦天後香明院乃皇女末子内親王に
て乃終す 祓社考

棧社

河曲殿ふあり
祭社 櫻田長命多り多國一長也
世一尚社、流記所見多し

大祓宮祭礼式

祓代以降之例 四月九月十四日

新嘗 廿二代清寧二年 十月二日始

初年 四代天武天皇白鳳四年三月始

御幣 四代天武天皇白鳳五年九月始

上日始 官幣中より多り多天曆

祓今命 四十四代元正天皇元正二年正月始

月次 辛二代媛成天皇弘仁年中始

行幸者 四十四代聖武天皇天智十二年十月始

古の祓社考

在外惟古の由祭例年々事際多中
左の経と申あり 文安記云々
元保勢あま乃中祓社といひね
傳といひ巻紙おぼくともいふ
小意聖より兼あ乃人のあ小内外
而乃兼因と云ふすあり

法系宮儀乃由

山田乃町の敬教三方乃所也
町乃入口に掛中乃町と云町乃左の方
内間乃社と云三社也 右所謂大面社
外又四十末社乃内之掛中乃町と云
上乃久保と云町を大社とて表外二宮
と云れは下中乃町と云町を内町と
おれと云一志下一志下と云町を
町左方に月と云町をこれよりあり
中より下と云町を左乃乃乃乃乃
山より保勢乃山あり山乃乃乃乃乃
あり小ま乃掃と云流神祭殿あり
小ま乃川と云水場乃流と云乃
乃流と云乃流と云乃流と云乃流
乃流と云乃流と云乃流と云乃流

なみうひして内宮へ入りて橋り
なみうひに橋りなりまはり橋りひふ
た方に山神をまつまはり橋りひふ
あり橋りひふ二所あり内宮へ乃多
井を築き神乃内門せんとり内門様
は乃内門をてまつりてまつりて外ま
とひしてまつりてまつりてまつり
なり八十木社とてまつりてまつり
まつりてまつりてまつりてまつり
まつりてまつりてまつりてまつり
まつりてまつりてまつりてまつり
まつりてまつりてまつりてまつり
まつりてまつりてまつりてまつり
まつりてまつりてまつりてまつり
まつりてまつりてまつりてまつり

八幡宮
なみうひにまつりてまつりてまつり
なみうひにまつりてまつりてまつり
なみうひにまつりてまつりてまつり
なみうひにまつりてまつりてまつり

山神
八幡宮
額田神社
額田神社
額田神社
額田神社

山神
八幡宮
額田神社
額田神社
額田神社
額田神社

上立神社
小山神社
上立神社
小山神社

下立神社
小山神社
下立神社
小山神社

いふ乃大石を古田氏削るを奉り今

入りて各本國へ廻り廻り多し此所
は古く三河内堂と云傳ふると云はれり
乃ち新和集小斎の移りて此所なり
少きありしは此所なり

高元院 澤古 兼名 **澤福寺** 澤古 弘仁年中立

此所の附け所なり山の中なり此所
より光の如く此所は法障は光の如く
移りて此所は石佛山中あり光の如く
移りて此所は十二神乃ち像あり奉祀此
乃ち像なり此所は石佛山中あり奉祀
出方石佛あり

徳千地蔵 朝田村立 弘法大師

昔大陣此所なり此所は此所なり
此所は此所なり此所は此所なり
此所は此所なり此所は此所なり

徳日山観音 安徳津 本尊觀音
此所は此所なり此所は此所なり
此所は此所なり此所は此所なり

松葉寺 安徳津 本尊觀音

天王泉院 天台

四天王寺 本尊觀音

徳光寺 本尊觀音

西光寺 本尊觀音

洞雲院 本尊觀音

地蔵堂 本尊觀音

大徳寺 本尊觀音

中徳寺 本尊觀音

妙光寺 本尊觀音

徳蓮寺 本尊觀音

徳福寺 本尊觀音

此所國郡各所古法

長久山 改乃下り云山人

此所は此所なり此所は此所なり

此所は此所なり此所は此所なり

此所は此所なり此所は此所なり

此所は此所なり此所は此所なり

此所は此所なり此所は此所なり

此所は此所なり此所は此所なり

とく川 又八千餘川と云々乃若か
とく川下と云々流と幾度と云々なり
りやく流の灰ふやをせと云々 居不悉知

とく川 流花野多 流系 若二寸版
八千餘 八千餘の流山 雲 井流山と云々
重 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに
阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに

阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに
かつ 阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに

阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに
阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに

阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに
阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに

阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに
阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに

阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに
阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに

阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに
阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに

阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに
阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに

阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに
阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに

阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに
阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに

阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに
阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに

阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに
阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに

阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに
阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに

阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに
阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに

阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに
阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに

阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに
阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに

阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに
阿久松原 重なる川やまを流 誰をの長瀬も二尺高し何んぞに

かしの云 龍子 山野 同他 此の川を云ふ内云

西へ南へも少く流れたり 石下東地

極正極廉 為系松 折江 折代 天

見もとを川 いと川を名不奉也 夏

時多 折岡や 松ノ枝の 玉原 柳

と七川 桑と高野原 桑月の 桑名 桑海

み川 桑名 桑海 桑月 桑名 桑海

折川 桑名 桑海 桑月 桑名 桑海

龍川 桑名 桑海 桑月 桑名 桑海

二見首 桑名 桑海 桑月 桑名 桑海

一志乃酒 桑名 桑海 桑月 桑名 桑海

破菜揚 桑名 桑海 桑月 桑名 桑海

とれ酒 桑名 桑海 桑月 桑名 桑海

大徳乃酒 桑名 桑海 桑月 桑名 桑海

おの酒 桑名 桑海 桑月 桑名 桑海

桑名 桑海 桑月 桑名 桑海

桑名 桑海 桑月 桑名 桑海

桑名 桑海 桑月 桑名 桑海

桑名 桑海 桑月 桑名 桑海

桑名 桑海 桑月 桑名 桑海

桑名 桑海 桑月 桑名 桑海

桑名 桑海 桑月 桑名 桑海

高井

いそりの井

いそりの井

山乃乃之井

停務乃海

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

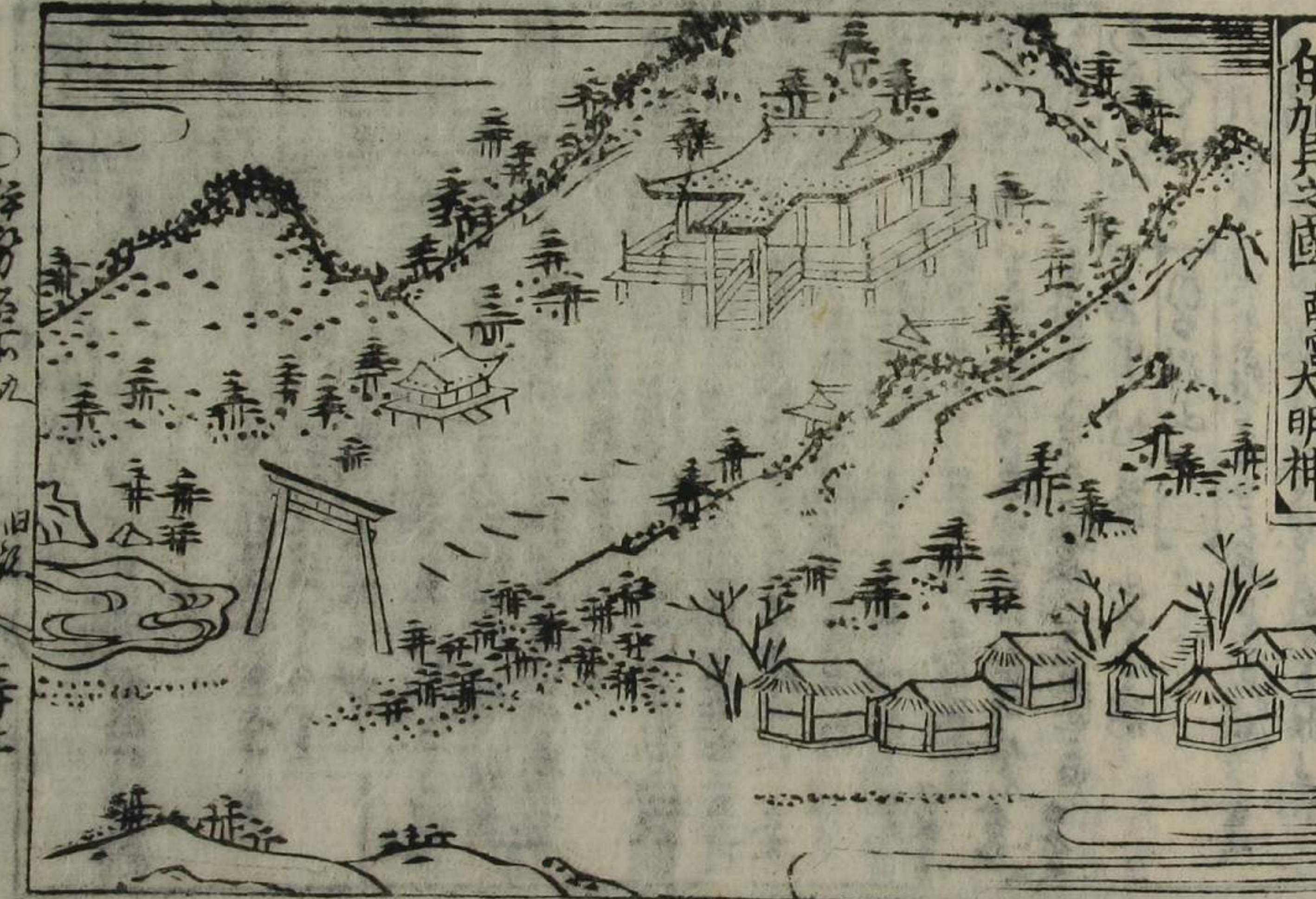
名未

名未

名未

名未

名未



伊加貝之國 南宮大明神

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

名未

右乃出くおれ小文川と云ふ之を海へ
 去文乃所を河川名也と云ふ也
 ▲中より大方東屋町也と云ふ山
 里太林文乃所也屋町也外より
 内より乃所也屋町也太林社也
 山田林官所

▲右列國穀作物ノ教也

綿 神木綿 海志 多刀 抄子貝
 刺 蛎 鮑 蟹 鱈 鮪 鮫 鱈 鮪 鮫
 海産 國産 和布 日産 和布 甘苣
 藤尾藤 串橋 所産 和布 甘苣
 黄菜 檉 黒柳板 曆 和布 甘苣
 柳 山田 藤 和布 甘苣
 白粉 炭 和布 甘苣
 藤茶 和布 甘苣

右列國分以也

大日本東海道 括五ヶ國

伊賀國 伊賀 下後也 和布 甘苣

安部 山田 伊賀 和布 甘苣

▲此類ノ内之類名也 國号ノ内
 東方此海産ノ物也 東海及ノ名
 景行ノ時小娘ノ内七と云ふ也
 文武ノ時小娘ノ内七と云ふ也
 成勢乃時之好々也

當國上野河城 和布 百七リ七十八

▲此國ハ勢及藤堂家御領分

- 織田信雄 天正十一年
- 筒井伊賀守定次 天正十一年
- 辰堂和泉守重虎 天正十三年

▲高國神社之部

敢國社

15社

祭神一社

金山彦神

高國

一宮之

伊弉册言大神刺遇突

智と生路久と云々時同怒懐惚因て

為吐られ行くと邪と名と金山彦と

中凡 日本紀

天武九年十月五日辰下敢國社

八幡宮

伊賀

同社

川根村

小村神社

名所小村

高國社

檀院

上野

年既天王

山下

高神素盞尊命なり

▲日佛國之部

茶師堂

赤村

信光院

西崎川

威店寺曹洞

山田

永祿年中在山和

好樂寺律宗

坂口

本寺弘法基依

観音堂

町尾村

本寺去日也

天孫行々なり

高國所之部

高國といふて高下ありて高上ありて高下あり

今乃高下ありて高上ありて高下ありて高上あり

惟其森

小敷更て惟其森なりて高上ありて高下あり

後其森

高上ありて高下ありて高上ありて高下あり

高乃森

高乃森なりて高上ありて高下あり

高乃山

高乃山なりて高上ありて高下あり

高乃社

高乃社なりて高上ありて高下あり

伊賀國分大和國越乃法

旧記曰東海乃伊賀系乃天自高下ありて高上あり

て天自高下ありて高上ありて高下ありて高上あり

て高上ありて高下ありて高上ありて高下あり

て高下ありて高上ありて高下ありて高上あり

て高上ありて高下ありて高上ありて高下あり

て高下ありて高上ありて高下ありて高上あり

て高上ありて高下ありて高上ありて高下あり

